

日本橋室町到新ビルオープン 室町古河三井ビルディング

当社は、東京・日本橋室町において三井不動産(株)を含む複数の地権者と共同で「日本橋室町東地区開発計画」に参画してきましたが、2014年2月に「室町古河三井ビルディング」が竣工、3月20日には同ビル内に商業施設「COREDO室町2」がオープンしました。

老舗名店や日本橋初の映画館が入り、新たな賑わいをみせる日本橋室町。
当社ゆかりの地に建った新ビルは、不動産事業の新たな柱として収益基盤の強化に寄与するものと考えています。



日本文化を感じる商業施設と 企業ニーズに対応したオフィス

「室町古河三井ビルディング」は、地上22階、地下4階建てで、商業施設(地下1階～6階)、オフィス(7～17階)、賃貸住宅(18～21階)の三層から構成されており、当社の持分比率は48.49%となっています。商業施設には、老舗名店による新業態店舗をはじめ「日本の伝統」を感じられる店舗が出店する一方、日本橋初のシネマコンプレックスも入り、若者にも親しみやすい施設となっています。オフィス部分は、フロアの形状や大きさにバリエーションを設け、テナントニーズにあわせた対応が可能で、部屋の広さも1フロアで約557坪、天井高さ約3mと日本橋エリアでは大きな執務空間になりました。

また、建物の外観は周辺の歴史的建築物との調和に配慮し、仲通りには暖簾や行燈をモチーフにした老舗が軒を連ねるなど、「通り」に特徴を持たせたデザインになっています。



日本橋室町と当社の関わり



「室町古河三井ビルディング」の通りの北側に、当社創業者古河市兵衛の銅像が設置されています。日本橋室町は、1877(明治10)年に古河市兵衛が本店事務所を開設したいわば当社発祥の地で、1897(明治30)年に丸の内に移転されるまで本拠地としていました。本店移転後は私邸となっていました。1917(大正6)年に古河銀行を設立した際、この地を銀行本店としました。その後、1959(昭和34)年には旧古河ビルを建設、そしてこの度の再開発計画により新ビルが誕生しました。



瀬戸物町(現・日本橋室町)にあった本店事務所



旧古河ビル

賃貸住宅 18-21階



フロア構成

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

2

1

B1

シネマコンプレックス 2-6階



商業施設 B1-2階



B1階 商業施設エントランス



1階 商業施設エントランス



1階 オフィスエントランス

7-17階 オフィス

環境やBCP対策に配慮した機能性の高い設備を導入

「室町古河三井ビルディング」のオフィスには、LED照明や太陽光追従制御型電動ブラインドを採用するなど環境に配慮した設備を導入しています。

また東日本大震災以降、多くの企業で課題となっている防災やBCP(事業継続計画)への対策として、デジタルサイネージによる災害情報の放送、72時間対応の非常電源による電力供給、最高ランクの耐震性を誇るエレベータのほか、全フロアに防災備蓄倉庫を設置するなど、入居企業のBCPをバックアップする高機能なオフィスを提供しています。